

LORC 7月スケジュール

- 16日(金) 第4回運営会議(9:30: 於龍谷大学深草学舎紫光館3F 研究交流室)
- 18日(日) 第4班第3回研究会
とき: 10:00~
会場: 京都商工会議所ビル 第2会議室
議題: 第2回研究会で設定された課題等
- 20日(月) 第2班第3回研究会
とき: 14:00~17:00
会場: 龍谷大学深草学舎紫光館3F 研究交流室
議題: ブックレットの内容について(継続)
- 31日(土) 第3班第3回研究会 in 金沢
とき: 10:00~14:00
会場: 石川県金沢市内または金沢市近郊[調整中]
議題: 第一回研究会で設定されたワーキング・グループの報告等

各班活動状況

第1班 RA 辻本 乃理子

5月26日の第1回研究会では、2004年度の研究計画・活動の詳細が話し合われました。また、第一班の研究テーマである参加・協働について、今後のアウトプットのために、研究員同士の共通認識を高めるための活発な議論が交わされました。今後は、各研究員がワーキングペーパーや関心領域に関するレジュメを提出し、班内で情報を共有することになりました。また、6月5日パーミンガム大学 Ken Spencer 教授を迎えての講演会(第2回研究会)では、活発な質疑応答が行われ、盛況のうちに講演会は閉会しました。7月19日より班長が3ヶ月間イギリスに行かれますので研究会はしばらくの間、開催されません。1班各研究員が研究遂行に必要な共通認識を高めるための資料を今後送付します。第1回目の送付は7月5日に行いました。しばらく個人研究の期間となります。

第2班 RA 新井 健一郎

5月29日に開催された第2回研究会では、アンケート調査の結果を基にしたブックレットの枠組み、具体的内容などについて活発に議論が交わされ、仮タイトルを「ローカルガバナンスのための自治体人事戦略:自治体職員研修実態調査を踏まえて」とすることで合意した。7月に開催

予定の第3回研究会でさらに内容を検討する。また、パーミンガム大学 Ken Spencer 教授を迎えての講演会(6月5日)では、近年の英国における地方政府と非営利セクターの関係について、Local Strategic Partnership や Compact などの新しい動きを含めた有益なお話を伺うことができた。

第3班 RA 田村 瞳

去る6月7日に、第3班の2004年度第二回研究会を開催しました。今回は、第3班の研究員であるパーミンガム大学の客員講師である小山善彦氏と同大学の Ken Spencer 教授にイギリスから来日していただき、「イギリスにおける人材育成と認証評価システム」について報告していただきました。そして、7月の下旬に日本の認証・評価システムの勉強会を兼ねて金沢で研究会を行う予定です。

第4班 RA 金 湛

6月5日に龍谷大学深草キャンパスで、第4班の今年度第1回目の研究会が開催されました。アフリカのジェンダー研究を行われてきたアイリ・マリ・トリップ博士は、「変貌するアフリカ議員の面々:女性とクォータ制」について講演を行いました。そして、6月14日には深草キャン

ンパスの研究メンバーが集まって、今後の第 4 班の運営や研究方針について話し合いました。その具体的な内容に関しては、7月の会議で検討される予定です。6月末は

斎藤先生がインド調査へ出向くなど第 4 班の海外での活動が本格化します。

LORC information

白石先生が渡英されます！

第 1 班代表白石克孝先生が、7月 19 日(月)から 3 ヶ月間、イギリスのリバプールを拠点に、Local Compact や Local Strategic Partnership などについてイギリス各地で調査を行われます。先生からのご報告が楽しみです。

オランダ国際シンポジウムについて

前号でお知らせしていた、今秋の国際シンポジウムについてですが、現在も引き続き先方と調整中です。進展があり次第、次号以降でお知らせ致します。以前、事務諸手続きのために参加希望を一旦締め切らせて頂きましたが、募集を再開致します。ご希望の方は、PD 的場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) までご連絡下さい。最終的な締め切りと参加確認については、また後ほどご連絡させていただきます。

LORC 資料室内文献紹介

昨年度に LORC で購入した文献のリストは、「2003 年度龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター年次報告書第 2 分冊」に収録されています。ですからここでは、本年度新たに LORC 資料室に加わった文献のデータを紹介します。内容の簡単な紹介文なども掲載できれば良いのですが、時間の都合でとりあえずはデータのみを紹介とさせていただきます。また、蔵書が随時増えていくことが考えられますので、文献はランダムに紹介します。興味のある文献について、LORC 支援室 (TEL: 075-645-2312) までご連絡頂ければ、目次のコピー、一時貸し出しなど対応させていただきます。

佐々木信夫『自治体の公共政策入門』(ぎょうせい、2000)

大阪ボランティア協会(編)『市民プロデューサーが拓く NPO 世紀』(ぎょうせい、2000)

市民立法機構(編)『市民立法入門 - 市民・議員のための立法講座』(ぎょうせい、2001)

アレザール日本(高等教育と研究の現在を考える会)(編)『大学界改造要綱』(藤原書店、2003)

定松栄一『開発援助か社会運動か - 現場から問い直す NGO の存在意義』(コモンズ、2002)

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html

日経グローバル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

掲示板

LORC プロジェクトに関連する文献の情報を募集します！！

LORC では、日々資料室の文献の充実を図っています。より広いフィールドからの情報は、本プロジェクトの成功に寄与することと思います。そこで、皆様からの情報を募集します。邦書・洋書は問いません。なにか良い文献があったら是非お知らせ下さい。ご連絡は、PD 的場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) まで。

夏休みの LORC 事務局の勤務体制について

龍谷大学では 8 月 4 日 (水) から 9 月 9 日 (木) まで夏期休暇期間ということで、この間は特別勤務体制となります。詳しくは事務局の久世さんからのメール (7 月 6 日) をご覧下さい。

LORC 研究員のひとこと (紹介)

今月の研究員紹介は、第 1 班副代表の新川達郎先生と第 2 班副代表の阿部圭宏氏です。

新川達郎氏

同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

私たちの研究目的は地域公共政策の形成過程を分析すること、そこで必要とされる人材の育成方法を考えることです。そのために、私の主たる研究関心でもあるのですが、新しい地域ガバナンスという観点から、地域政策プログラムの研究を進めようとしています。

阿部圭宏氏

(特活) 市民がささえる市民活動ネットワーク滋賀 [NPO 市民熱人] 代表

これは何も NPO に限った話ではないが、NPO の現状を日々見ていると、人材不足を痛感させられる。例えば、今の行政課題への問題意識を持った人は多くても、それを提言や提案としてまとめていく人たちがまだまだ少ない。そのような現場をささえていく研究になればと思う。

編集後記

大学院生時代、指導教官に「学位は研究者へのパスポート」と言われていました。学位を取得した今、その言葉をかみ締めています。(N)

暑くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調を崩さぬようご自愛ください。(K)

最近、ついにマックユーザーになりました。この際だから周辺機器も一新し、全部白に統一して快適な今日この頃です。(H)

最近、家のパソコンが壊れ、その中に入っていた情報が全部消えました。これまで機械に頼っていた私は人の連絡先を覚えておらず、数字の計算もできず、漢字すら書けないことに気がつきました。“文明社会”の人間は、自分の脳よりコンピュータに頼りつつあります。コンピュータを失うとき、私たちは原始社会にも戻れないのではないのでしょうか。(Z)

暑くて暑くて溶けちゃいそうです。なのに世間ではこれを梅雨と呼んでいます。雨の雫を感じないのは私だけでしょうか。日本は四季のある美しい国だなんて言ったのはいったい誰ですか？エジンバラのように一日のうちに春夏秋冬が一巡りやってくる方がよっぽどましです。この蒸し暑い気候のせいで最近はお機嫌ななめです。(W)

もう誰も T を海外に派遣しようなどと思ってくれないうらなあ。(T)

LORC Newsletter Vol.2, 30 June 2004

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター (LORC) 支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>